

● プログラム早見表 ●

9月13日(金) 前夜祭 ●参加費・1,000円
 19:00 ●ゲスト紹介/小池照男映像&パフォーマンス
 20:00 ●ウエルカムパーティー

9月14日(土) 1日目
ヒロシマ平和映画祭特集
 ~ヒロシマから映画とゲストが新得にやって来る~

10:00~11:44 ●〈映画〉「ひろしま」
 ☆11:45~小林一平トーク「映画『ひろしま』を語り継ぐ」
 12:30~13:47 ●〈映画〉「ヒロシマ1966」
 13:00~16:00 ●〈映像ワークショップ〉
 小池照男「驚き盤」★屋外にて
 13:49~14:25 ●〈映画〉「黒い花」
 14:35~16:34 ●〈映画〉「時を鑄込む」
 ●16:40~18:00ディスカッション「ヒロシマ映画がもたらした光と闇」
 小林一平×東琢磨×上村崇×青原さとし
 19:30~21:30 ●〈ライブ〉新月灯花
 「果たしてこの闘いは続いて行くのだろうか?」
 22:00~23:11 ●〈映画〉「ギャルアバター」

9月15日(日) 2日目
 10:00~11:30 ●〈スライドショー〉
 浅見裕子「美ら海を守る人々」
 13:30~15:30 ●〈講演〉★会場が変わりますご注意ください!
 会場は新得町公民館(3条南4丁目)
 小出裕章「被曝の時代を生きる」

16:30~18:08 ●〈映画〉「笹の墓標・第二章・浅茅野」
 20:00~22:00 ●〈ライブ〉「原・減・言」
 浪花の歌う巨人・パギヤン(趙博)ライブ & トーク
 with ハルマ・ゲン

9月16日(月) 3日目
 10:00~11:49 ●〈映画〉「笹の墓標・第三章・遺族」
 13:00~16:00 ●〈フェルトワークショップ×モンゴルの土産話〉
 今岡良子×玉山知子★屋外ゲル内にて
 13:30~15:22 ●〈映画〉「ラブ沖繩@辺野古・高江・普天間」
 ●上映後、安次富浩トーク

16:30~18:00 ●〈ライブ〉宇井ひろし×ウ・ラッキーしげる
 18:30 ●さよならパーティー ●参加費・1,000円

★2日目の「小出裕章講演会」は新得町公民館、それ以外はすべて新内ホール(メイン会場)での開催です。
 ★2日目の「小出裕章講演会」の開催中、メイン会場では何も行っていません。
 ★1日目と3日目のワークショップ開催中、並行して映画を上映しています。
 ●劇映画 ●ドキュメンタリー ●ライブ ●ワークショップ ●講演 ●その他 ●パーティー

[チケット] ● 3日間・通し券 / 3,000円
 ● 1日券 / 2,000円
 ★映画に限り1作品・1,000円の当日券もあります。

★小出裕章講演 / 1,000円(高校生以下500円)
 * 3日間通し券と1日券は当日会場受付にて販売します。(前売りはしていません。)
 * 通し券はパーティーを除くすべてのプログラムに有効。
 * 1日券でパーティーを除くその日の全てのプログラムに有効。
 * 小出裕章講演とパーティー以外の全てのプログラム高校生以下無料。
 * オープニング&さよならパーティー/各1,000円
 * 小出裕章講演会については下記の場所で前売券を販売しています。
 帯広市 ●藤丸チケットぴあ(帯広市西2南8 / 0155-24-2101)
 音更町 ●のんびり屋(音更町下土幌北3線東51-50 / 0155-30-8022)
 新得町 ●新得町教育委員会(新得町・公民館内 / 0156-64-0532)
 ●相馬商店(JR新得駅前 / 0156-64-5055)
 ●BeWild(新得町北新得 / 0156-64-5200)

[アクセス]
 ●千歳空港より~JR特急南千歳乗換約2時間
 ●帯広空港より~まずJR帯広駅まで連絡バスで40分帯広駅からJRで約1時間
 ●千歳空港より~道東道経由・十勝清水ICから一般道、約2時間
 ●札幌から~JR特急で約2時間、車で約4時間(高速経由で約3時間)
 ●旭川から~JR利用で約3時間、車で約2時間半(狩勝峠経由)



★JR新得駅からは約10km、歩くと2時間程かかります。送迎車などはございませんが、JRで新得に到着された方は下記(会場直通)まで電話ください。タイミングが良ければ、他の誰かの車に便乗できるかも知れません!

[お問い合わせ / および講演会チケット購入]
 お問い合わせ ● 090-8278-6839 (映画祭事務局)
 または ● 090-6216-1528 (映画祭帯広事務所)
 新内ホール・会場直通 ● 0156-64-3161 (会期中のみ!)

* メールでのお問い合わせは...staff@kuusounomori.com
公式サイト <http://www.kuusounomori.com/>
「空想の森映画祭」で 検索
 * プログラムはWebでも公開中!

空想の森 映画祭

SHINTOKU
KUSO NO MORI
FILM FESTIVAL
2013

〈会期〉 2013
9.14.sat-16.mon

〈会場〉 **新内ホール**(旧新内小学校)
 北海道上川郡新得町字新内

■ お問い合わせ ☎ 090-8278-6839 (映画祭事務局 / 藤本)
 チケット購入 *または ☎ 090-6216-1528 (映画祭帯広事務所 / 野田)
 ■ 会場直通(会期中のみ) ☎ 0156-64-3161 (新内ホール)


<http://kuusounomori.com/>

★ボランティアスタッフ募集! ★出店者も募集しています。
 ★プログラムはWEBからもご覧になれます。

主催 ● Shintoku空想の森映画祭実行委員会
 北海道新聞帯広支社
 後援 ● 新得町・新得町教育委員会

Graphic by Nekomataya

9月13日(金)☆前夜祭☆参加費・1,000円(立食パーティー)



- 19:00～開会・ゲスト紹介
- 19:20～小池照男映像&パフォーマンス (40分)
「祈り」作詞・作曲・映像・笛・詩朗読：小池照男
東日本大震災後、泥かきボランティアで仙台市若林区に通い、そこで感じ取ったことをこの曲に込めました。
- 20:00～ウエルカムパーティー

1日目●14日(土) ヒロシマ平和映画祭特集

10:00～18:00 ヒロシマ平和映画祭プログラム
～ヒロシマから映画とゲストが新得にやって来る～

●10:00～11:44 (104分) 劇映画

「ひろしま」 監督：関川秀雄 / 1953年 / 白黒
出演：岡田英次 / 月丘夢路 / 加藤嘉

被爆後8年が経過した広島で、9万人の広島市民がエキストラ出演などで協力して作られた映画。被爆のシーンがあまりにもリアルだったので、大手の映画配給会社がアメリカ政府との軋轢を恐れて興行にかけられず埋もれてしまった名作。新藤兼人『原爆の子』(1952)と双璧をなす原爆映画の金字塔！

●11:45～小林一平トーク
「映画『ひろしま』を語り継ぐ」
(映画『ひろしま』奇跡への情熱…プロジェクト代表)

●12:30～13:47 (77分) 劇映画

「ヒロシマ1966」 監督・脚本：白井更生 / 1966年 / 白黒
出演：望月優子 / 加藤剛 / 松本典子 / 寺田路恵

『ヒロシマ・モナムール』(アラン・レネ監督、1959年)でチーフ助監督、『その夜は忘れない』(吉村公三郎監督、1962年)では脚本を担当した白井更生監督の幻の自主作品。被爆後21年目の広島、ベトナム戦争開戦の年、平和都市の闇へと閉じ込められていくヒロシマ！

協力：東京国立近代美術館フィルムセンター (東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品)

●13:49～14:25 (36分) 劇映画

「黒い花」 監督：バティスト・ベセット / 2010年 / フランス
出演：大槻オサム

2009年夏、広島。現存する最古の植物種である銀杏は、原爆の爆風と放射線さえも、気の遠くなるほど長い己の種の歴史のなかに、ただその1ページとして刻み込んでその夏も豊かな生命力に満ちた青い葉を一羽をそよがせていた。広島のアーチスト大槻オサムの身体表現と原民喜の詩で綴るヒロシマ映像詩。

●14:35～16:34 (119分) ドキュメンタリー

「時を鑄込む」 監督：青原さとし / 2011年 / HDV

かつて全国でも1,2位を争うほど鑄造業の盛んだった広島。映画では広島県内を中心に島根・関西・名古屋など、広範な取材を重ね、鑄物関連企業の重役から熟練工、研究者に至るまで幅広い層の人たちが、歴史と技術の両面から「もうひとつのヒロシマ」を浮かび上がらせる。

●16:40～18:00 (100分) トークショー

ディスカッション「ヒロシマ映画がもたらした光と闇」

- 小林一平(映画『ひろしま』奇跡への情熱…プロジェクト代表)
- 東琢磨(音楽・文化批評)
- 上村崇(福山平成大学准教授)
- 青原さとし(ドキュメンタリー映像作家)

●13:00～16:00 (180分) ワークショップ

「驚き盤」小池照男・映像ワークショップ

3歳から110歳まで誰もが作成できる「驚き盤」は、映画の始まり体験として無限の可能性を秘めています。さあ、あなたにしかできない映画世界を作ってみましょう。
(小池照男プロフィール)1951年生れ、神戸大学法学部卒。詩・ダンス・映像・笛のコラボレーションを展開中。個展・グループ展多数。



●19:30～21:30 (120分) ライブ

果たしてこの闘いは 続いていくのだろうか!? 新月灯花ライブ

私達は原発事故以来、毎月福島に行ってます。現地で出来た曲「透明な闇」を「ラブ沖縄」に使ってもらい、改めて「社会の歪み」を意識されました。正しい大人として、今在るべき表現者としてのライブしたいです！
(バンドプロフィール)2006年に、山崎優子、田中美知子、田中館寿江の3人のメンバーで結成される。いろいろなメンバーの参加を経て、「いつでもどこでも誰とでも！」がモットーになる。2008年、「電気が無くてたつて音楽はやれる！」をモットーに追加。全国各地の路上ライブを中心に、活動の場を広げる。2011年3月11日以降は、「私達は加害者だ！」をモットーに追加して、福島の現状から逃げない為に毎月行くようになる。
(メンバー紹介)
田中美知子●愛称：みっちゃん / ギターボーカル
山岸佑季子●愛称：きやす / ドラムボーカル
山崎優子●愛称：ユーコ / ベースボーカル
中野裕子●愛称：なかの / ギターボーカル




●22:00～23:11 (71分) 劇映画

「ギャルアバター」 監督：能登秀美 / 2011年

平凡な高校生の僕の家に超可愛いアバターがやってきた。本当は、ボケてしまったお婆ちゃんの意識を転送して、ちゃんとトイレにいかせてあげることが目的。でも、お父さんは、ナイスパティのアバターとやりまくり、それを覗き見して興奮しちゃった僕も遂に童貞を…

新得出身の若き映画監督、第1作！
●能登秀美監督舞台挨拶あり




2日目●15日(日)

●10:00～11:30 (90分) スライドショー

「美ら海を守る人々」

浅見裕子スライドショー

初めて沖縄へ行ったのは、3人の米兵による小学生レイプ事件の翌年の1996年1月。返還された筈の沖縄には、米軍がそのまま居座っていました。そして、この事件がいつの間にか、辺野古への新飛行場建設にすり替えられてしまいました。沖縄の町や村を歩き、辺野古の海のやぐらに座り込み、16年間見続けて来た沖縄のありのままの姿をお伝えします。
(浅見裕子)



★会場が変わります、ご注意ください！
新内ホールではなく、新得町公民館です。

小出裕章講演
「被曝の時代を生きる」

日時●9月15日(日) 13:30～15:30
会場●新得町公民館 大ホール
参加費●1,000円(限定・476席)
(高校生以下・500円)

〈小出裕章〉京都大学原子炉実験所助教



新得のみなさんへ
人類は愚かにも核に手を染め、1950年代から60年代にかけて大量の大気圏内核実験を行って地球を放射能で汚染しました。その後も、さまざまな核施設(原子力発電所を含む)から放射能が放出され、汚染を広げてきました。そして、2011年3月11日、福島第一原子力発電所の事故が起こりました。濃密な汚染地帯に住んでいた人々は故郷を追われ、その周辺にも、放射線管理区域にしなければならない汚染が広大に広がり、そこに人々が棄てられています。さらに、その外側の世界でも、被曝から無縁でいられる人はいません。そんな汚染された世界で、私たちが何をなすべきか、考えます。
小出裕章

●16:30～18:08 (98分) ドキュメンタリー

「笹の墓標 第二章：浅茅野」 監督：影山あさ子・藤本幸久 / 2013年 / HDV

1997年夏、北海道幌加内町朱鞠内。日本・韓国・在日コリアンの若者たちが戦時中の雨竜ダム建設工事で命を落とした強制連行・強制労働の犠牲者の遺骨を発掘しようと集まった。東アジア共同ワークショップの始まりである。以来、朱鞠内・猿払村浅茅野・芦別での発掘や韓国での体験者や遺族の調査、遺骨の返還と、若者たちの出会いは国境を越えて広がっていった。

第二章：浅茅野 / 北海道猿払村浅茅野。2006年から2010年まで、3度にわたる旧日本陸軍飛行場建設工事犠牲者の遺骨発掘が行われた。考古学の専門家たちの参加を得て、丁寧に進められる発掘。39名の遺骨が発掘された。小さな穴に折りたたむように押し込められた遺骨の姿から、強制労働の実態が浮かび上がる。

●上映後、影山あさ子監督・藤本幸久監督とのフリートーク(出演者大集合！)




●20:00～22:00 (120分) ライブ

趙博ライブ 「原・滅・言」
～浪花の歌へ巨人・パギヤン(趙博)ライブ&トークwithハルマ・ゲン

歌い続けて30年、まったくヒット曲に恵まれないパギヤンです。3・11の衝撃を、僕たちなりにアルバムにしました。それに収録した曲を中心に歌います。『笹の墓標』で流れる「ヨイトマケの唄」もご披露します。

■趙博(パギヤン)





3日目●16日(月・祝)

●10:00～11:49 (109分) ドキュメンタリー

「笹の墓標 第三章：遺族」 監督：影山あさ子・藤本幸久 / 2013年 / HDV

第三章：遺族 / 遺骨を遺族に返したい。手がかりを求め、遺族や強制労働の体験者たちを訪ねる若者たちの旅が続く。戦後60年以上が過ぎても、消えない犠牲者遺族の悲しみ。帰る場所を見つけれない数々の遺骨。長い道のりを経て、4体の遺骨が韓国入遺族へ返還されることになった。被害者と加害者の和解は、はたして可能なか。

●上映後、影山あさ子監督・藤本幸久監督とのフリートーク(出演者大集合！)

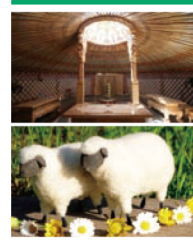


●13:00～16:00 (180分) ワークショップ

今岡良子のお話×玉山知子フェルトワークショップ

ニードル・ハンド・フェルトで作品をつくりながらりょうちゃんのモンゴルからの土産話を聞きます。フェルトワークの素材は北海道・七飯の山田農場の羊毛とりょうちゃんがモンゴルから持ち帰った羊毛です。このスペシャルな羊毛を使って、一緒にメルヘン世界を手作りしましょう。

(お話し)りょうちゃん：今岡良子(大阪大学准教授 / モンゴル語) / モンゴル帰り、モンゴル核廃棄物問題の最新情報がお土産です。
(フェルトワーク講師)たまちゃん：玉山知子(羊毛フェルト作家)





●13:30～15:22 (112分) ドキュメンタリー

「ラブ沖縄@辺野古・高江・普天間」 監督：藤本幸久・影山あさ子 / 2012年 / HDV

辺野古、高江、普天間。この3つの場所での闘いには、沖縄の人びとの譲れない思いが込められている。美しい森、海、そうした自然とともに普通の暮らしがしたい。米軍の新基地建設、オスプレイ配備に揺れる沖縄。3つの場所での、抵抗の8年間を追ったドキュメンタリー。

上映後●安次富浩(辺野古テント村・村長)トーク
アメリカ軍の新基地建設に反対する辺野古での座り込みも3300日を超えました。私は座り込みの初日から今まで、ほぼ毎日、辺野古テントで活動を続けています。2代目村長として、辺野古、普天間、高江…、沖縄の今、そして沖縄から見える日本の姿など、何でもお答えしたいと思います。(安次富浩)






●16:30～18:00 (90分) ライブ

宇井ひろし×ウ・ラッキーしげるライブ
十勝の2大スター夢の共演！

●宇井ひろし
新得町にて農業のかたわら音楽活動を続ける。めざす音楽はあらゆるものとのつながりを意識させるようなもの。沖縄ソロッパーでもたくさんのお会いがありその中で出来た歌も歌います。

●ウ・ラッキーしげる
音更町下土幌で、天然酵母パンの店「のんびり屋」を営んでいる。日常の何気ない生活の中で起こる出来事を題材に時にはまじめに、時にはおもしろおかしく、オリジナルソングを歌う。今年はどうな新曲が飛び出すか？

●18:30～ さよならパーティー

参加費●¥1,000
☆十勝・新得の美味しいものがいっぱいのお立食パーティー！お楽しみに！



■劇映画 ■ドキュメンタリー ■ライブ ■ワークショップ ■講演 ■その他 ■パーティー